

作東地域・ふるさと祭り

【十月二十九日】

今年は、雨の中での開催となり客足を心配しましたが、テント村では例年以上の盛り上がりでした。粟井村も前日までの準備、当日の販売と、栄養、愛育、福祉ボランティア、生活交流など連携のとれた協力で完売。全体でも完売続出でした。一部「うどん」の売れ残りがあった程度です。雨を苦にしない作東地域の元気に感動しました。作東は潜在能力の高い地域です。



粟井地区自主防災会

発足 【10月20日】

最近の各地の地震、大雨洪水、土砂災害等に備えて粟井地区全体で防災組織を立ち上げました。「備えあれば憂い無し。」が目標です。当面は、18名の役員で、組織、目的、活動内容等を決めていきます。みなさんの知恵と汗のご協力をお願いします。次回は11月7日。



粟井地区・行政懇談会

【十月十六日】

第3回行政懇談会がありました。市からは、市長、政策審議監、総合戦略管、教育次長、保健福祉部長、支所長、秘書課長の参加でした。今回も有意義な会となりました。詳しい一問一答は市のホームページに記載されます。出された意見は、①道路パトロールの業務内容について。②能登香の湯の老朽化対策と校舎への移転について。③県道鷺巣溝口線の道路改良について。④市道西谷小房線の拡幅工事早期実現について。⑤「能登香の里小房」のエアコンと風呂の設置について。⑥身体障害者、高齢者がいつでも使えるグラウンドゴルフ場の常設について。⑦作東中のスクーター部の部活練習への対応について。⑧グラウンドの真砂土の補給について。⑨おまじや「ロ」発達障害等を持つ幼児、児童、保護者の居場所づくりについて。…などこれも貴重な意見ばかりでした。要望が叶うよう、今後もみなさんの「支援よろしく」をお願いします。



粟井福祉ボランティアの会 友愛訪問

【10月20日】

今年度2回目の「友愛訪問」を行いました。合わせて「救急キット」の確認や、新たに設置すべき家庭なども調査しました。これからもより細やかな見守り活動が必要です。いつまでも粟井村で安全・安心に暮らしていけるようにさらなる工夫をしていきます。(募集中)



特別支援学校誘致期成会 結成

10月19日

作東総合支所、旧江見商業の跡地利用、作東公民館の老朽化等の課題を解決するために、特別支援学校を誘致する活動を進める目的の会です。会長には安東充宣氏、他副会長5名、理事29名でスタートしました。



美作市自治振興協議会 島根県雲南市 視察研修

【十月十八日】

美作市自治振興協議会28名、市役所10名総勢38名、島根県雲南市で視察研修を行いました。雲南市は、市内30の地域自主組織で、「小規模多機能自治による住民主体のまちづくり」を実施している所です。平成26年3月に村創りの会で行ったところとほぼ同じ「里山3兄弟(入間波多、民谷地区)」を視察しました。以前と違うところは、波多地区で「はたマーケット」を開いたことです。送迎も施設、店舗利用者は地区内無料で行っています。常駐職員2名、非常勤3名で管理運営しています。みんなとても感心して説明に聞き入っていました。帰りのバスでは、全員、感想や意見を発表して市や各自治体の課題を共有しました。写真は、はたマーケット、雲南市の取り組み説明、入間の昼食、民谷地区



研修会のご案内

「認知症についての研修会」

深秋の候、皆様にはますますご清米のこととお慶び申し上げます。

昨今の情勢を踏まえ、上記の会を下記により開催します。認知症は早期発見で症状を遅らせ、地域で共に生活していく手立てを講じなくてはなりません。

初歩的な研修会ですので一人でも多くの方に参加していただきたくご案内します。

- 1.日時 平成29年11月16日(木) 午後1時30分～2時30分
- 2.会場 旧粟井小学校2階多目的ルーム
- 3.講師 地域包括支援センター 廣畑様
- 4.内容 認知症の早期発見と、家族・地域での見守りの仕方。さらに、個々の質問も受け付けます。この機会に地区全体で認識を深めていきましょう。

「編集後記」 いよいよ冬の支度の季節を迎えました。この農閑期には、粟井地区の課題について集中して議論していかなくてはなりません。「村創りの会」粟井地区防災会「能登香の里小房」「能登香の湯」「校舎の利活用」、それぞれが大きな課題を抱えています。絆とやすらぎの里粟井村の大きな財産、宝でもあります。人口減少を食い止め、持続可能な村創りに必要な組織、施設です。